

一橋日本史 予想模試⑧ 解答

I

1南北朝の動乱は、天皇を頂点とする旧来の権威を失墜させ、観応の擾乱による幕府権力の分裂は惣領制の解体を促した。また、守護が段銭徴収などの権限を拡大し、在地の武士を家臣化して統制下に置くと共に、国人など在地の武士が地域的な一揆を結んで自主的な地域秩序を形成して守護領国制が発展し、武家主導の地域社会が形成された。一方、守護・国人らによって荘園を横領されて公家・寺社の荘園・公領への支配権が後退し、畿内近国では自衛や年貢減免要求を基盤として惣村が結合して荘園制の解体が進んだ。また、動乱は商業活動や貨幣流通を活発化させ、それに伴い田楽・猿楽・連歌など民衆性の高い地方文化が展開した。2分割相続から単独相続へという動きが定着して惣領制が崩壊し、武士が地縁的結合を重視するようになったから。3 起請文を記して署名し、灰にして、神前に供えた水にまぜ、一同で回し飲みして団結を誓い合った儀式。4阿弭河荘百姓等申状。

(400字)

II

1治安警察法。2日清戦争後に日本資本主義が成立して賃金労働者が増加したが、彼らが待遇改善などを求めてストライキを起こしたため、第二次山県有朋内閣は治安警察法により労働運動を取り締まった。31900年。日清戦争後、欧米諸国や日本が中国分割に乗り出したことへの反発から義和団が蜂起して排外運動が始まり、清国政府も同調して列国の公使館が包囲される北清事変が生じた。4治安警察法には女子の政治集会参加、労働組合への加入などを禁止する規定があり、普選運動を軸とした大正デモクラシーの高揚、大戦景気に伴う都市大衆化で激増した労働者による労働運動や新婦人協会による女性地位向上運動などの社会運動、およびILOの創設などを背景として、その規定を撤廃する運動が展開されたため、政府は治安警察法第5条の一部を改正して女子の政治集会参加禁止の規定を削除し、さらに第17条を改正して争議行為などを禁止する条項を削除した。(395字)

III

1軍隊は、緩やかではあるが、当時のもっとも近代的な洋服、洋食、洋楽および時計を介した時間秩序などの生活条件を農村出身者に与えるという形で、中央文化の地方進出をはやめる役割を果たし、文明開化の推進力となった。2北里柴三郎。ドイツで破傷風の血清療法を確立し、帰国後に伝染病研究所の所長となり、ペスト菌を発見した。3戦局の悪化に伴う制海・制空権の喪失によって、各地で日本軍の補給路が断たれ、深刻な食糧不足が発生したから。4日本商船の暗号解読の成功や魚雷の改善などで米海軍による対日潜水艦作戦が成功したうえ、日本側においては、戦時の船舶不足を補うために建造数増加を最優先としてつくられた貨物船の航海速度などの性能の劣化、および船舶不足により一輸送船あたりの人員の搭載量が過重となっており、狭い居住空間に押し込められた兵士たちが沈没の際に脱出できずに死亡したケースが多かったから。(385字)